


S-TEAM 教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト  
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

学校名	北海道函館工業高等学校
実施日時	令和4年9月1日（木）17:00～19:00
講師	（所属）大鎌電気株式会社 （職・氏名）代表取締役社長・大鎌幸雄 （連絡先電話）090-5076-0198 （電子メール）y-ookama@ookama.co.jp
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>教科等横断的に資質・能力を育成するため探究の過程を通じて課題を解決するために必要な資質・能力を育成する。また、生徒の言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成し現場での体験を通して日常の学習の大切さを知る。</p> <p>2 日程</p> <p>17:00～17:10 オリエンテーション・講師紹介 17:10～17:45 講義・ディスカッション 17:45～18:00 休憩 18:00～18:45 演習・実演</p> <p>3 講義、実習等の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象：定時制課程 電子機械科3年生（生徒7名）</li> <li>○ 講義・ディスカッション <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローンと電波法について</li> <li>・地域企業が学校に求めるもの 将来の電気技術者の育成について</li> <li>・将来の起業家育成に向けのお話（アントレプレナー事業について）</li> </ul> </li> <li>○ 演習・実演 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローンの操作・取扱いについて</li> <li>・ドローンレース</li> </ul> </li> </ul>
	



#### 4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）

「空の産業革命」に向けた今後のドローンの活用や海外の現状のお話をいただき、日本はやや遅れていると感じた。また、日本は人口減少が深刻であり、ドローンが一部のインフラや豊で安全な生活を支える重要な要素になることを知ることができた。今後は更に世の中を便利にするために、今考えられるアイデアを出し企業の課題を考察していく。なお、普段もの静かな生徒が主体的に参加し、喜んでドローンを操縦する姿が印象的だった。